

## 【北区会】

### ◎北区会の活動

道満 俊徳（生環13期）

高齢による心身虚弱進行は止められない。それには、人とのリレーションは必至。出会いの場作り・楽しい会話・目的のある仕業が望ましいと考えている。会員数は区会一番、居住区域はひよどり台から有馬・道場淡河と間延びエリアで、安易に出会えない悩みがあります。

そこで、全会員何年間通った「しあわせの村」を基点基地として、多くの出会い場作りをしている。まずは4つの趣味の会：①折り紙・②写真③絵手紙ハガキ絵④書道の会＝月1回開催で約50名の参加あり友好親善場を実践しています。それ以外に恒例「バスツアー」で近畿一円小旅行に・歴史の痕跡多い北区で「歴探ハイク」、誰もが参加の「グランドゴルフ大会」など年延べ約120名参加があり、今後も北区会会員だからこそ楽しめる企画を引き続き進捗中です。会員への情報はメール会員63%配信、年間4回発行の充実満載の「北区会NEWS」で楽しんで頂いているはずです。



## 【西区会】

### ◎「わ」西区2018年秋のバス旅行

鈴木 隆美（生環18期）

恒例の「わ」西区秋のバス旅行、今年は、11/13（火）34名が参加し、播磨路の歴史・文化を尋ねて、書写山円教寺と、播磨大中国古代の村・県立考古博物館を訪問しました。おいしい精進料理をいただき、円教寺では、僧侶の案内で、普段立ち入りできない場所も案内していただきました。境内は紅葉が見ごろでした。帰りには、ヤマサ蒲鉾に立ち寄り、たくさん試食しました。鮮やかな紅葉を愛で、おいしいものを頂いた初秋の一日でした。



## 【東灘区会】

### ◎“まち歩き”活動

春日 雅夫（生環17期）

いよいよ新元号が変わります。平成に続く元号は、果たして何になるのでしょうか。

東灘区会では、昨年秋から今年の春にかけて、“まち歩き”を行っています。

「知っとお東灘」ということで我々の住んでいる、愛すべき東灘をもっともっと知ってもらおうとみんなで散策しています。1回目は「御影の豪邸めぐり」、2回目は「酒蔵と西国街道コース」、3回目は大河ドラマに出ている“御影の偉人”「嘉納治五郎ゆかりの地めぐり」、4回目は宮水のルーツを探り、西宮界限をそれぞれ健康的にまち歩きしています。ガイド役は、「東灘ボランティアガイドの会」のメンバーにお願いし、認識を深めています。まだまだ参加者は多くは有りませんが、この輪がどんどん広がる様、引き続き企画してまいります。



## 【灘区会】

### ◎ 灘区「わ」のボランティア活動として

鈴木 肇（音文11期）

2014年の4月に「わ」の事務局から老人ホームの宿直ボランティアの紹介があり、応募しました。六甲山麓に神戸海星病院の附属施設として1999年に出来た特別養護老人ホーム「うみのほし」です。2階から5階までに約70名の方々が入居しておられます。宿直ボランティア7名は全員がシルバーカレッジの卒業生で、お一人が辞められたので私が週に一度の勤務に加わりました。仕事は夕方6時から翌朝8時半まで、玄関の施錠、各階見回り、夜間に救急患者がでた時の開門、早朝の汚れ物のゴミ出しですが入居者の世話は一切なく、仮眠も出来ます。ボランティアと言っても有償です。最近体調不良で二人辞められて現在は5人で、少し無理な勤務になっていますが頑張っています。

